

台北  
TAIPEI  
DANGDAI  
當代  
Art & Ideas

藝術博覽會

12-14. May. 2023

特別呈獻



Taipei Nangang  
Exhibition Center  
台北南港展覽館

MAKI Gallery

Booth F12

Michael Kagan

Anne Kagioka Rigoulet

Keisuke Tada

baanai



1980年ヴァージニア州生まれのマイケル・ケーガンは、2003年にジョージ・ワシントン大学を卒業後、2005年にNew York Academy of Artにて修士号を取得し、同大学院で特別研究員を務めました。現在、ニューヨーク州ブルックリンを拠点に活動しています。宇宙飛行士やロケット、山頂やサーファーなど人間が自らの限界を超えていく状況を捉えたアイコン的なイメージを題材に、鮮やかな色と落ち着いた色のペイントをリズムカルな筆致で織り合わせることで、鑑賞者の視点によって抽象表現と具象表現の狭間でせめぎ合うようなハイコントラストの油彩画を制作します。

近年の主な個展に「To The Moon」MAKI Gallery（東京、2022年）、「It Lasts Forever」Almine Rech Gallery（ロンドン、2022年）、「How We Remember」Almine Rech Gallery（ブリュッセル、2021年）、「It's Never Over」Over the Influence（香港、2021年）、「We Have Felt The Ground Shake」Bill Brady Gallery（マイアミ、2018年）そして「Summit Push」Half Gallery（ニューヨーク、2017年）がある他、全米各地やヨーロッパでグループ展に多数参加しています。2019年には自身初となる美術館個展「I Was There When It Happened」がヴァージニア現代美術館で開催されました。



**Michael Kagan**

***Moonwalker***

2022

Matte black patinated bronze sculpture

120.0 x 55.0 x 60.0 cm





**Michael Kagan**  
*Footprint II*



**Michael Kagan**  
*Footprint V*



**Michael Kagan**  
*Footprint VI*

---

2022

Oil and enamel on linen

61.0 x 61.0 cm

Signed, titled and dated on the reverse



Installation view with Michael Kagan, *Footprint V*; *Footprint VI*, 2022

Michael Kagan, *Footprint V*, 2022 (detail), Photo: Takahiro Wada



Installation view with Michael Kagan, *Apollo 11 (Rocket I–XII)*, 2022

# MAKI Gallery

---



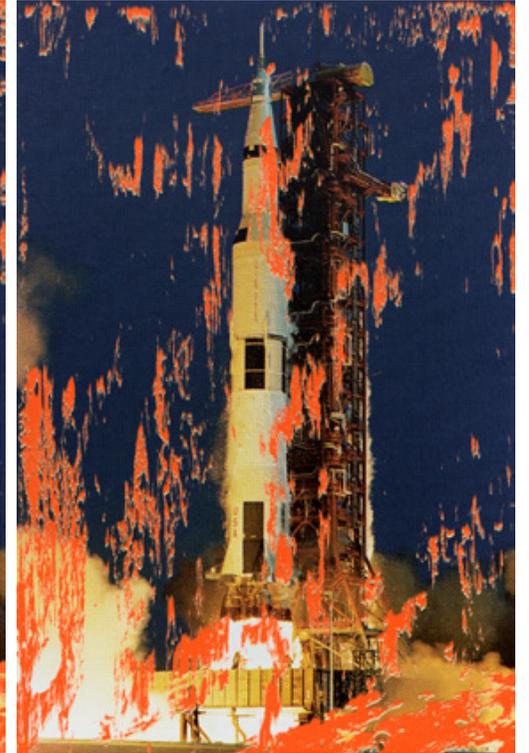
**Michael Kagan**  
*Apollo 11 (Rocket I)*



**Michael Kagan**  
*Apollo 11 (Rocket II)*



**Michael Kagan**  
*Apollo 11 (Rocket III)*



**Michael Kagan**  
*Apollo 11 (Rocket IV)*

---

2022

Enamel on paper

76.2 x 50.8 cm

Framed dimensions: 85.2 x 59.7 cm

Signed, titled and dated on the reverse

# MAKI Gallery

---



**Michael Kagan**  
*Apollo 11 (Rocket V)*



**Michael Kagan**  
*Apollo 11 (Rocket VI)*



**Michael Kagan**  
*Apollo 11 (Rocket VII)*



**Michael Kagan**  
*Apollo 11 (Rocket VIII)*

---

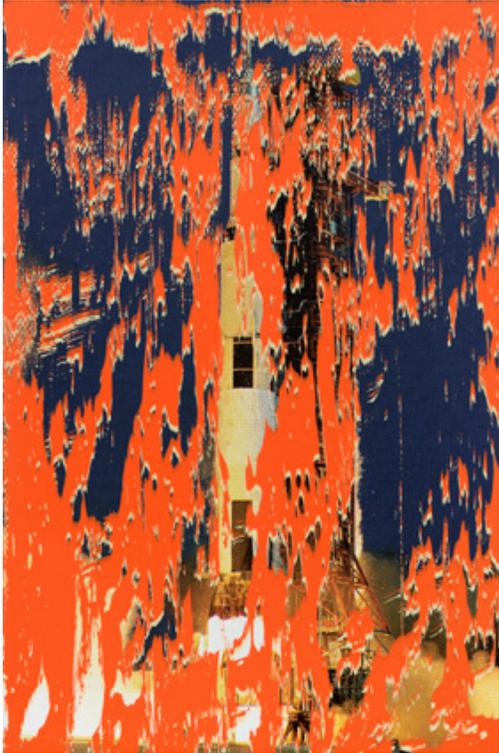
2022

Enamel on paper

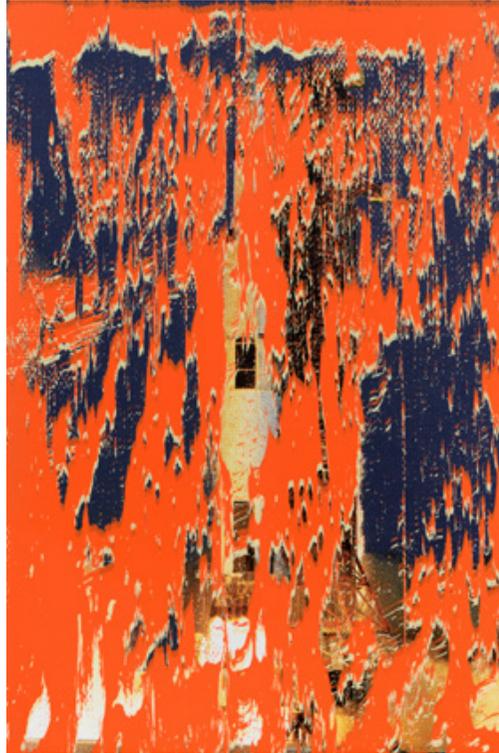
76.2 x 50.8 cm

Framed dimensions: 85.2 x 59.7 cm

Signed, titled and dated on the reverse



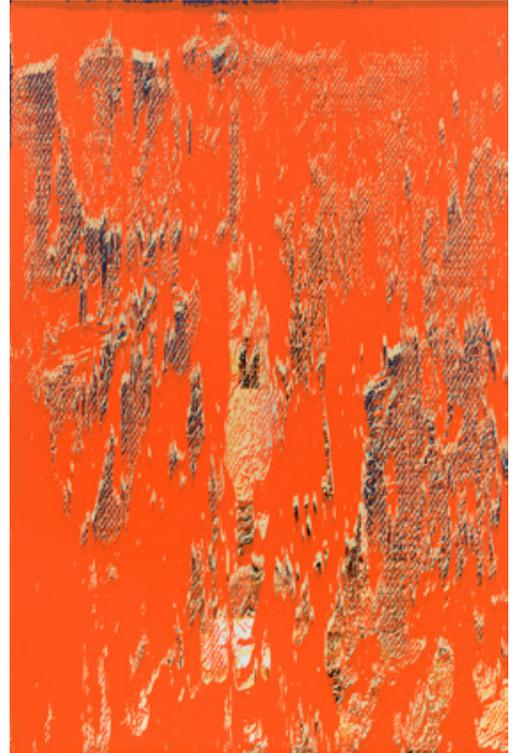
**Michael Kagan**  
*Apollo 11 (Rocket IX)*



**Michael Kagan**  
*Apollo 11 (Rocket X)*



**Michael Kagan**  
*Apollo 11 (Rocket XI)*



**Michael Kagan**  
*Apollo 11 (Rocket XII)*

---

2022

Enamel on paper

76.2 x 50.8 cm

Framed dimensions: 85.2 x 59.7 cm

Signed, titled and dated on the reverse

MAKI Gallery

---

**Michael Kagan**  
***Mavericks S4***

2021

Oil and enamel on linen

61.0 x 50.8 cm

Signed, titled and dated on the reverse





1987年神奈川県生まれの鍵岡リグレ アンヌは、東京芸術大学絵画科油彩専攻を卒業後、同大学大学院にて壁画を研究。その後フランスに渡りフランス国立高等工芸美術学校にてフレスコ・モザイクの技術を学び、現在は鎌倉にアトリエを構えています。鍵岡はグラフィートという重ねた色層を削り取る古典的な壁画技法に布のコラージュを加え、そこに色層を重ねる独自のペインティング法を用いて立体感のある絵画を制作しています。日常生活の中にある抽象的な風景に関心がある鍵岡は、世界各地で取材した水面の反射をもとに、彫刻的な造形性をもつ「Reflection」シリーズを2014年から描いており、その後「Reflection」から展開された水面に映る人物を抽象と具象の間で描写した「Figure」シリーズが加わりました。さらに2019年のルクセンブルクでのアーティスト・イン・レジデンスをきっかけに、太古からの水の力により削り出された壮大に連なる岩肌を繊細な生キャンバスに薄い層で描き出す「Element」シリーズが誕生。また、これら3つのシリーズにおいて探究された表現や構図は、水面に映る人の顔に焦点をあてた「Portrait」シリーズへと継承されています。鍵岡の生み出す作品は、圧倒的かつ繊細な色彩で構成され、抽象と具象、平面と立体の合間を行き来し、絶え間ない変化と共に独自の世界観で観る者を魅了しています。

主な個展に「Addition - Subtraction」MAKI Gallery（東京、2022年）、「Transition」MAKI Gallery（東京、2021年）、「A Moment of Immersion」Sakurado Fine Arts<sup>※</sup>（東京、2018年）、「Reflection: 2015-16」Sakurado Fine Arts<sup>※</sup>（東京、2016年）、「Anne Kagioka Rigoulet」Sakurado Fine Arts<sup>※</sup>（パリ、2014年）などがある他、フランス、日本、ラトビアなどでのグループ展や壁画プロジェクトに参加し、国内外のアートフェアにも数多く出展しています。

<sup>※</sup>2020年6月よりMAKI Galleryに名称を変更

MAKI Gallery

---



**Anne Kagioka Rigoulet**  
***Reflection h-29***

2023

Oil and mixed media on panel

80.3 x 116.7 cm

Signed, titled and dated on the reverse



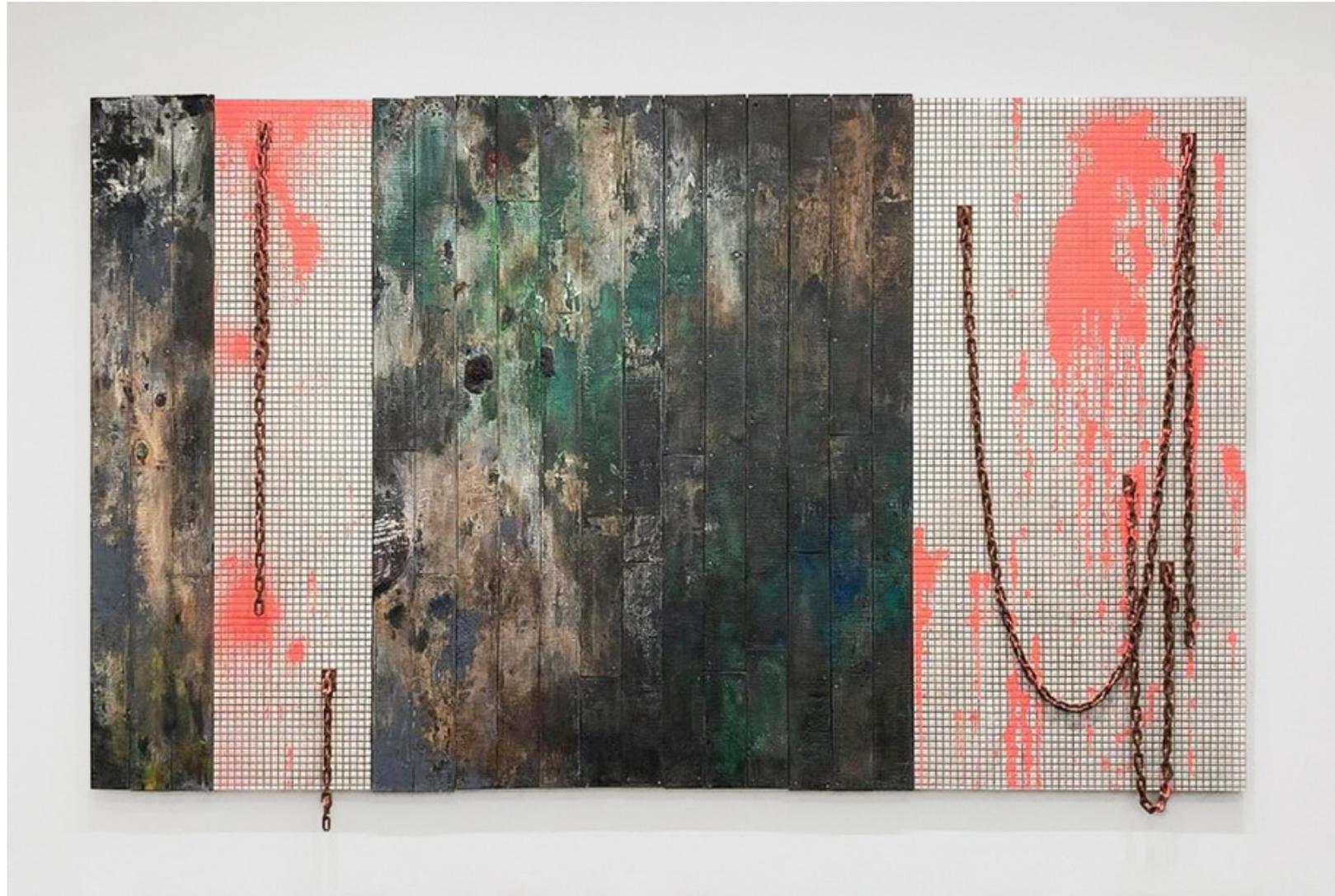
Photo: Daisuke Omori

1986年愛知県名古屋市生まれ。現在も愛知県を拠点に活動するアーティスト・多田圭佑は、2010年に愛知県立芸術大学美術学部油画専攻を卒業後、2012年には同大学大学院にて修士号を取得しています。ゲームをはじめ、バーチャル世界が提供する知覚体験に関心を寄せる多田は、作品を通して現実と虚構の曖昧な境界線を表現しています。木材や鎖、タイルなどを用いたアッサンブラージュのような「trace / dimension」シリーズ、精巧に再現したアンティーク調の門扉を斧で破壊する「Heaven's Door」シリーズ——そのすべては絵の具で作られた造形物です。「残欠の絵画」シリーズでは、ヨーロッパの古典絵画になぞらえた作品の表面をエイジングすることで捏造の時間を創り上げています。“在ることと無いことのせめぎ合い”をテーマに立体的要素を含む多田の作品は、これまでにない新しい絵画を追求しているのです。

主な個展は「Traffic」MITSUKOSHI CONTEMPORARY GALLERY（東京、2022年）、「Beautiful Dream」MAHO KUBOTA GALLERY（東京、2020年）、「CHANGELING」rin art association（群馬、2020年）、「BORDER」CAPSULE（東京、2018年）がある他、日本各地や香港で様々なグループ展に参加しています。

MAKI Gallery

---



**Keisuke Tada**  
***trace / dimension #16***

2021

Oil, acrylic, and pigment on canvas

248.0 x 394.8 x 6.0 cm

Signed and dated on the reverse

MAKI Gallery

---

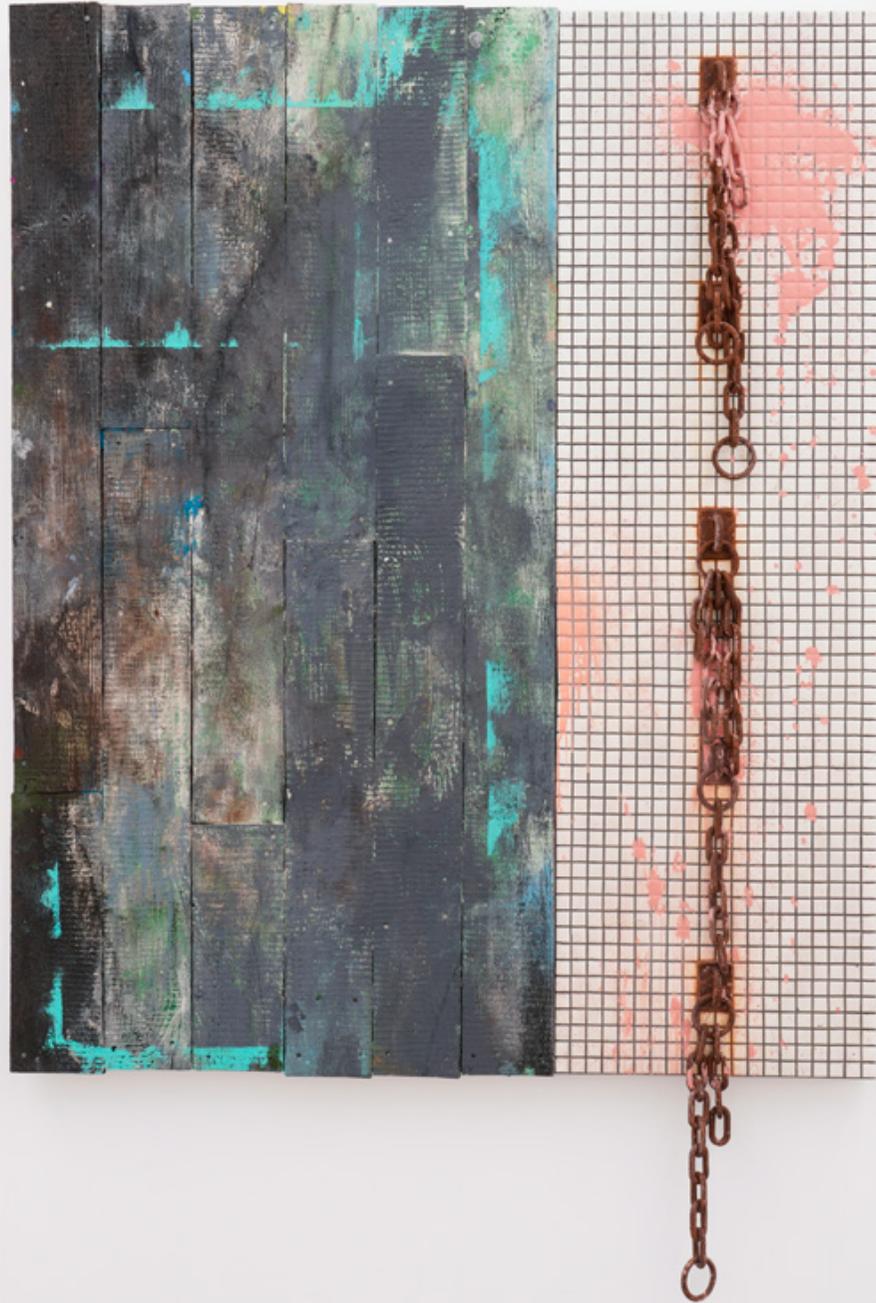
**Keisuke Tada**  
***trace / dimension #27***

2022

Oil, acrylic, and pigment on canvas

162.0 x 131.8 x 6.0 cm

Signed and dated on the reverse





Keisuke Tada, *trace / dimension #27*, 2022 (detail)



baanaiは、1977年神奈川県藤沢市鶴沼生まれ。現在もこの地で活動しています。baanaiのアーティストとしての経歴は、2015年COMME des GARÇONSの川久保玲氏にポートフォリオを送り、初めて作品が採用されたところから始まっています。一躍注目されるようになったbaanaiは、その後多くのブランドに作品が起用され、次々に個展を成功させます。一見華やかにみえる活躍の裏側で、baanaiはひたむきに、愚直に、自身のアートを追求してきました。執拗なまでに反復された文字によって画面全体を埋め尽くすという、作家独自のスタイルによって生み出される作品は、何層にも塗り重ねられ、観る者を奥に奥にと引き込みます。そこには、かつて抑圧された作家のアートへの欲動、そして、作家が生まれた地であり、現在も活動の拠点とする神奈川県藤沢市鶴沼のサーフィン文化、数々のブランドとのコラボレーションの経験などが色濃く反映されているのです。色と色が重なり、言葉と言葉が重なった画面からは、まるで重厚なオーケストラの演奏が聴こえてくるようにも感じられます。一方でグラフィティの要素が強い表現とあいまって、baanaiの描く言葉は作家の慟哭にも聞こえ、平面を構成する以上の空間性を創り出し、作家の‘生’を伝えます。

主な個展は、「UNLOGICAL」MAKI Gallery（東京、2022年）、「DOUBLE BED GALLERY」六本木蔦屋書店2F BOOK GALLERY（東京、2020年）、「Capillaries」伊勢丹新宿店メンズ館2階 メンズクリエイターズ内 ART UP（東京、2020年）、「inaiinaibaanai」伊勢丹新宿店メンズ館2階 メンズクリエイターズ内 ART UP（東京、2019年）など。ほかにも2015年以降、パリコレをはじめ、COMME des GARÇONSのDM、洋服、ショッピングバッグなどにアートワークが起用され、以来、同ブランド以外に、NEW ERA、RVCA、Audio-Technica、CONVERSE SKATEBOARDING、MINE DENIMに作品を提供するなど、目覚ましい活躍を続けています。

# MAKI Gallery

---

Underlayer\_1



Underlayer\_2



**baanai**

***ON SURF COLLAGE (BWF 020C-111)***

2023

Acrylic and collage on canvas

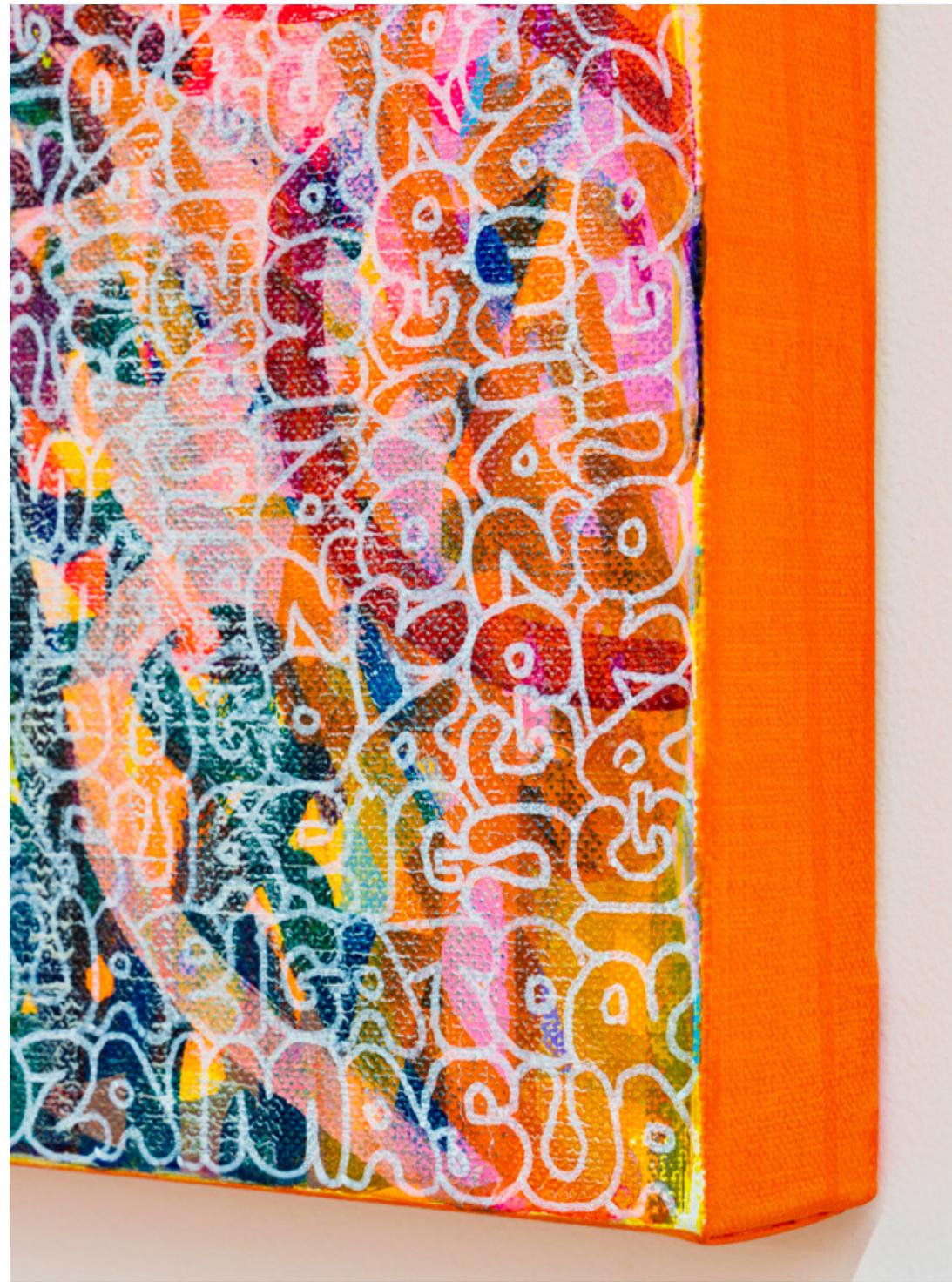
162.0 x 130.3 cm

Signed, titled and dated on the reverse





baanai, *ON SURF COLLAGE (BWF 020C-111)*, 2023 (detail)



baanai, *'ARIGATOUGOZAIMASU' (BYF 020C-84)*, 2023 (detail)

# MAKI Gallery

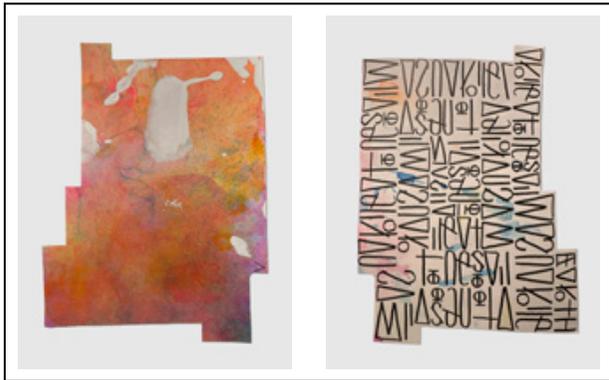
Underlayer\_1



Underlayer\_2



Underlayer\_collage



**baanai**

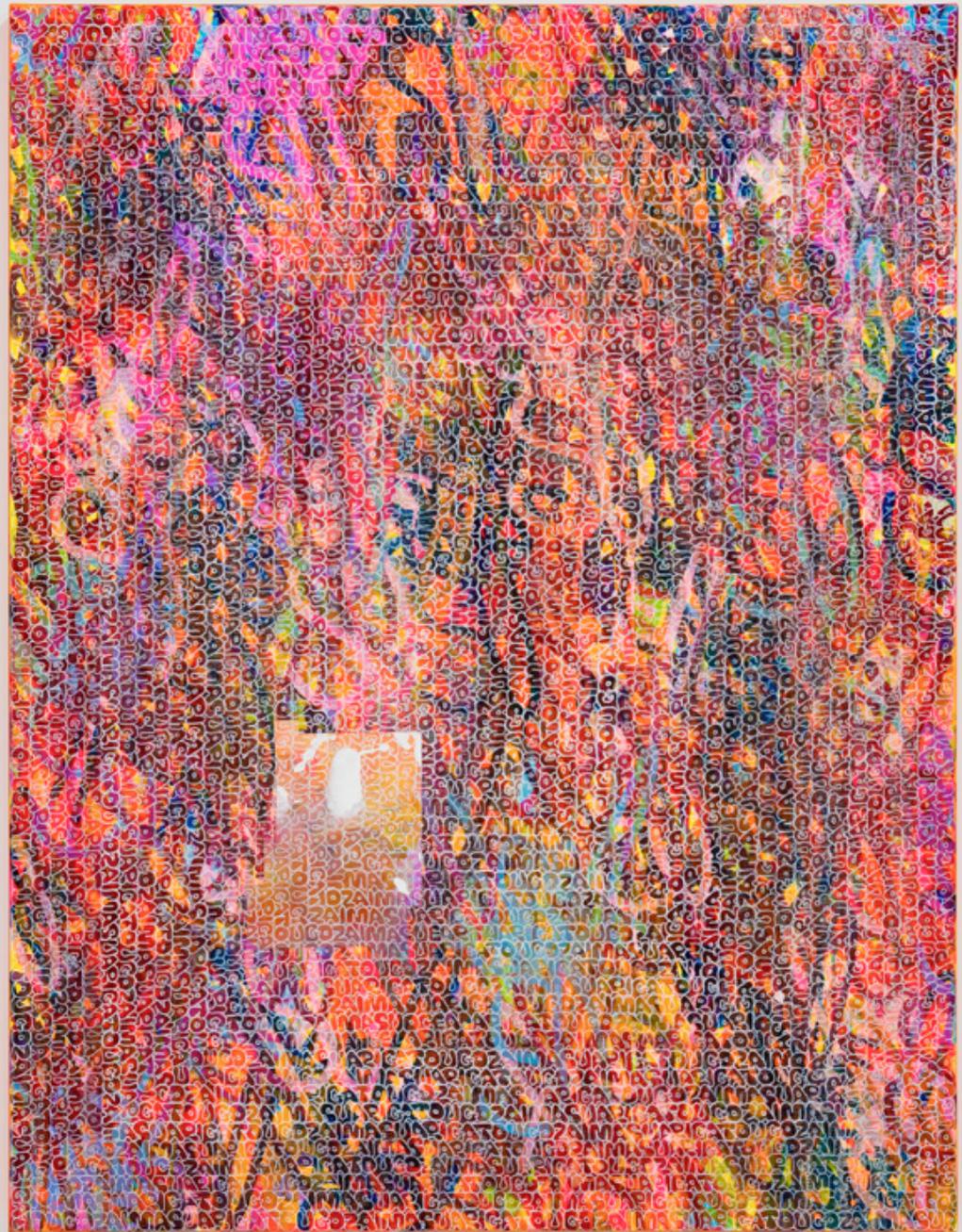
**「ARIGATOUGOZAIMASU」 (BYF 020C-84)**

2023

Acrylic and collage on canvas

116.7 x 91.0 cm

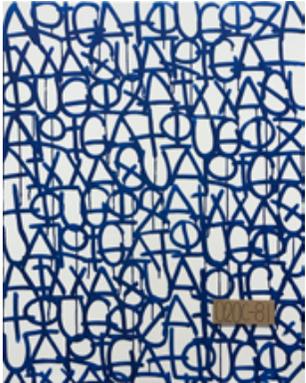
Signed, titled and dated on the reverse



# MAKI Gallery

---

Underlayer\_1



Underlayer\_2



**baanai**

**「ARIGATOUGOZAIMASU」 (BBF 020C-81)**

2023

Acrylic on canvas

91.0 x 72.7 cm

Signed, titled and dated on the reverse





baanai, 'ARIGATOUGOZAIMASU', (BBF 020C-81), 2023 (detail)



baanai, 'ARIGATOUGOZAIMASU', (BBF 020C-99), 2023 (detail)

# MAKI Gallery

---

Underlayer\_1



Underlayer\_2



**baanai**

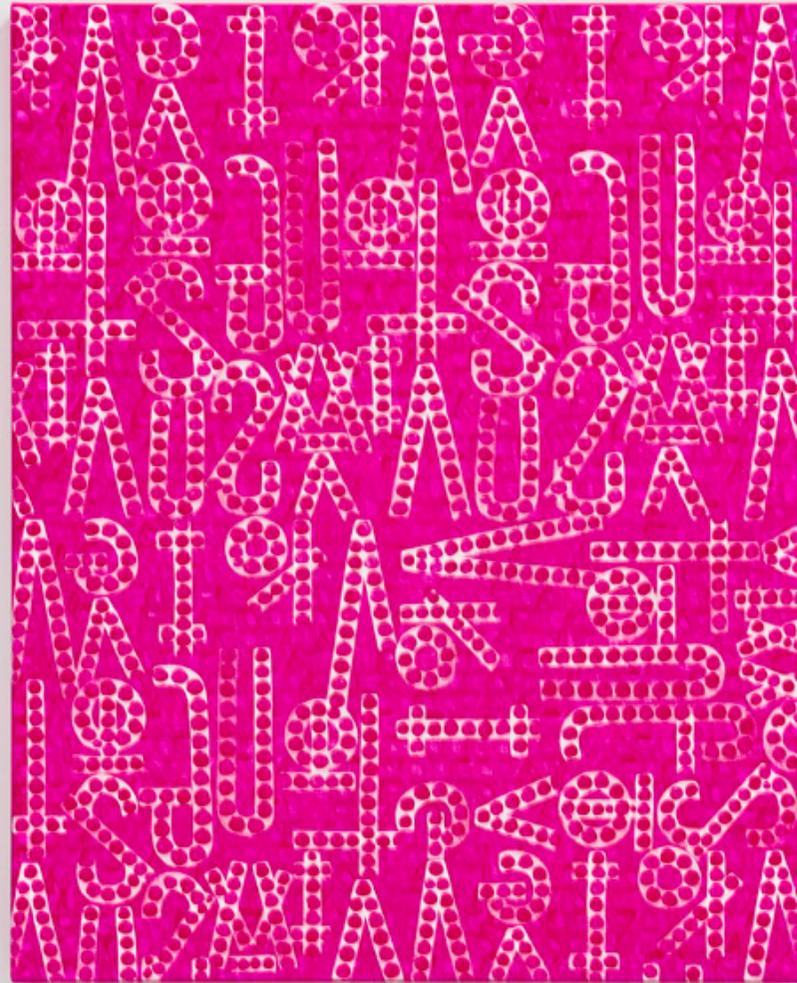
**「ARIGATOU GOZAIMASU」 (BBF 020C-99)**

2023

Acrylic on canvas

65.2 x 53.0 cm

Signed, titled and dated on the reverse



COVER ARTWORK:  
**Michael Kagan**, *Moonwalker*, 2022 (detail), Photo: Jonty Wilde

MAKI Gallery  

---

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-11-11 | tel: 03 6434 7705 | fax: 03 6434 7706  
[www.MAKIGallery.com](http://www.MAKIGallery.com) | [info@MAKIGallery.com](mailto:info@MAKIGallery.com)